



発行責任者

特定非営利活動法人

相模原市障害児者福祉団体連絡協議会
(通称：NPO法人れんきょう)

会長 鈴木 秀美

相模原市中央区富士見6-1-20 (あじさい会館内)

T E L & F A X 042-755-5282 (直通)

題字「わ」 相模原市長 本村 賢太郎

さーくる 障害理解

検索

《NPO 法人れんきょう第11回令和7年度定期総会報告》

令和7年度定期総会は6月22日(日)にあじさい会館6階展示室で開催されました。来賓として本村市長代理の副市長 大川亜沙奈様、市議会議員 大槻和弘様、社会福祉協議会会長 笹野章央様、社会福祉事業団理事長 武石宣子様、相模原ボランティア協会会長 恒藤玲子様にご臨席いただき、祝辞を頂戴しました。ご多忙中のご臨席に感謝いたします。

総会は、代議員53名中、出席19名、委任状と議案賛成の議決権行使者20名があり過半数の参加を得て成立しました。

総会の進行役として、司会はあしたば会の榛澤さん、議長は相模原市腎友会の大泉さん、書記は相模原やまびこ会の野口さんに務めていただきました。

議案は令和6年度事業報告、令和6年度収支決算報告ならびに監査報告、役員選任案、令和7年度事業計画案、令和7年度収支予算案、定款および定款施行細則の一部改正案で、それぞれ担当役員から説明がありました。各議案とも代議員の賛成多数をもって可決されました。

今年度も多くの行事が予定されています。会員の皆様の参加を期待します。



《ほかほかふれあいフェスタ 2025 の開催案内》

今年度のほかほかふれあいフェスタは、昨年と同様に式典を含めての開催となります。なお、今回も、健康フェスタとの共同開催となりますので多くの方々に多角的にお楽しみいただけるものと期待しています。

本年も、楽器演奏・歌唱、よさこいソーラン、阿波踊りは ウェルネス相模原広場で実施されます(これらのパフォーマンスは雨天中止となります)。さらに、広場や広場前の側道では、焼きそば、ポップコーン、野菜、パン、手工芸品等の販売やバザーの出店が予定されています。

れんきょうは広場のテントに加盟団体のパネルを展示して、加盟団体の活動内容を参加者の方々にアピールします。開催日程は10月11日(土)10時開始の見込みです。

また、障害者週間キャンペーンは従来どおり小田急線相模大野駅北口のサンデッキで11月29日(土)12時から開催の予定で、福祉関係の資料を通行人の皆様に配布する啓発活動を実施します。そして通行の方々の目を楽しませる楽器演奏・歌唱、よさこいソーラン、ヒップホップダンス等のパフォーマンスを披露いただく予定です。

《自由民主党相模原支部連合会、公明党相模原総支部、

立憲民主党相模原市連絡協議会、日本共産党神奈川県北部地区委員会

との政策懇談会開催》

「れんきょう」では、毎年各政党の市議会議員の方々と障がい福祉について意見交換会として政策懇談会に参加しています。

本年度は、5月8日に公明党、6月16日に自民党との政策懇談会に参加しました。当方からは(1)重度障害者等福祉手当廃止の撤回、(2)精神障がい者の虐待とネグレクト、(3)安全な歩道の確保、(4)ライドシェアについての要望や実態を説明し、議員の方々と意見を交換しました。そして7月29立憲民主党、8月7日に日本共産党との政策懇談会に参加する予定です。

《令和7年度「障害者週間のつどい」開催について》

「障害者週間のつどい」は来る12月7日(日)にあじさい会館ホールにて開催する予定です。現在、第1部の障害者週間事業の一環としての「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」入賞者の表彰式に引き続いて行う第2部のアトラクションについて検討中です。

障害者手当を廃止した公務員という人々

相模原市精神障がい者仲間の会(あしたば会)

榛澤 昌高

「重度障害者等福祉手当が廃止されたら、生活が立ち行かなくなりますか?」。昨年、相模原市が市内障がい者に行ったアンケートの質問。「YES」と答えた方は“39.4%”生活が立ち行かなくなると答えた方が約4割。本当に重い数字です!障がい者にとって欠かせない収入であることがアンケート結果から明らかになりました!

それにもかかわらず、2025年度は半額になり、2026年度は全廃。毎年3月に開かれる市と市内障がい者団体との意見交換会「福祉施策懇談会」で、市は、障害者手当を廃止すると明言されました。“約4割の方が、生活が立ち行かなくなると答えているのに”廃止するとしたら、いったい何のためのアンケートだったのか?

お金、特に生活費がないという状態、それがその人をどれだけの精神的に追い込むことになるのか。この決定を下した人たちは、そこまで追い込まれた経験がないのでしょうか。生きるのに必要なお金を奪われたら、どれだけ悲惨なことになるのか、考えただけで恐ろしいです。

障がい者は今現在、法律によって自由も権利も形式上には守られています。しかし実質本当の自由はなく、収入源も限られ、根強い差別や偏見に晒されています。この生きづらい社会では「生きているだけで苦しい」は多くの障がい者の叫びです。それなのに、年6万円の収入を奪われたら、大打撃を与えることは火を見るより明らかなです。病状が悪化したり、絶望的な気持ちに陥ったり、自死を選んだり。

相模原市は「72万市民、誰一人取り残さないという強い思いの下、障害者施策を行っている」と。市長が連呼されている“誰一人取り残さない”という言葉“強い思いの下”と強調されてました。4割の障がい者の生活をぶっ壊そうとしているのに、いったいどういう、おつもりで、この言葉をおっしゃっているのか？！

市長、市議会議員、市職員。障害者手当を奪った「公務員」と呼ばれる人たち。彼らには、市の財政が破綻しないように鍵取りをする責任があります。しかし財政再建を“大義名分”として障がい者の生活を壊していいということでは絶対にありません。市民生活を守りながら財政再建をするのが彼らの本当の責任です！

「公務員」という人たちが特別悪い人というわけではありません。しかし、彼らが時に、非常に冷酷で非情なことをするのも事実です。

ガス電気を止められた男性が生活保護の申請に行っても「兄弟に頼って下さい」と受け付けず、その男性は餓死されてしまった（北九州市門司餓死事件）。“HOGONAMENNA（保護なめんな）”と背中に描いたジャンパーを着て受給者を侮蔑した（小田原ジャンパー事件）。生保の申請に来られた方を追い返し、その方は「おにぎりが食べたい」と日記に残して餓死してしまった事件。生保の利用を押さえるため“水際作戦”“数値目標”“保護辞退の強要”など、命に関わるほどお金に困っている人にも、無情にも切り捨てる公務員がいるのも事実です。ただ彼らが、ある意味仕事熱心で、限られた予算の中で支出を減らす「役所側の論理」に従って行動しており、それが市民に対して非情な判断であっても、それが“彼らなりの正義感”だったら本当に恐ろしい。

「平凡な人が、時にとてつもない悪事に手を染める場合がある」とは「凡庸な悪」を提唱した政治哲学者ハンナ・アーレントの言葉。『凡庸な悪』とは特異な犯罪者や悪意を持つ者ではなく、日常的な状況において普通の人々が引き起こす悪事のこと。彼女は第2次世界大戦中、ドイツでのユダヤ人大虐殺の実行役だったアイヒマン被告が裁判で見せた姿は「ただの平凡な公務員で何百万人も人を殺した極悪人ではなかった」と。上から命令されれば、思考を停止し、人を殺めることすら行うのが人間だと。毎日、ニュースでは殺人事件や凶悪犯罪が報じられます。ただ「これらの悪事を働く者たちが極悪人で、特別な人間ではなく、平凡で善良な市民が、時に恐ろしい事件を起こす」とアーレントは指摘します。

障害者手当を廃止したら、生活が立ち行かなる障がい者が出ることは、公務員の方々も分かっているはず。しかし会議で、いくら障がい者の窮状を訴えても、彼らの答弁は論点をずらし、核心は答えず、やたら丁寧な言葉づかいで自分たちの言い分を続けます。

公務員の方々、本当は心の中でどう思っているのか？私情を押さえて、上の者の言う通りにしか言えない、動けないのか。もしくは、そもそも自分の懐が痛まないから“他人事”でしかないのか。

私たちは、まだ障害者手当廃止の撤回をあきらめていません。大変恐れていることがあります。手当廃止で生活が立ち行かなくなると答えた方が4割。その中に普段から希死念慮のある方がいたら、命を支える生活費が奪われたショックで自死が起こらないと誰が言えますか？障

害者手当廃止は人の命を奪う恐れがあると本気で思います。「相模原事件」で犯人は不法に障がい者の命を奪いました。もし障害者手当廃止のショックで自死される方が出たら、法律では裁かれなくても、合法的に障がい者の命を奪うことにならないですか？公務員の方たちには、障害者手当廃止は、人の命に関わる事案だと知ってほしい！

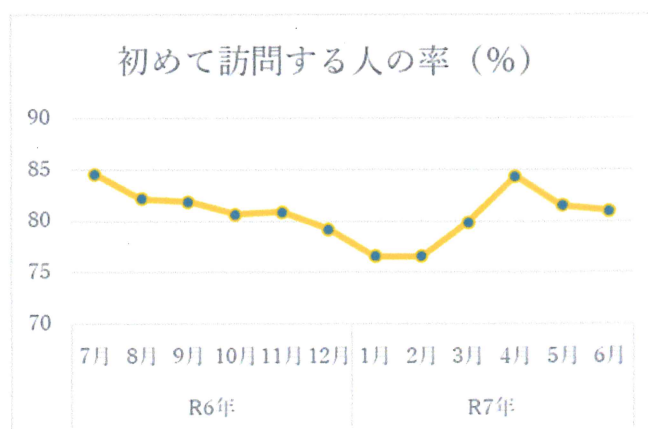
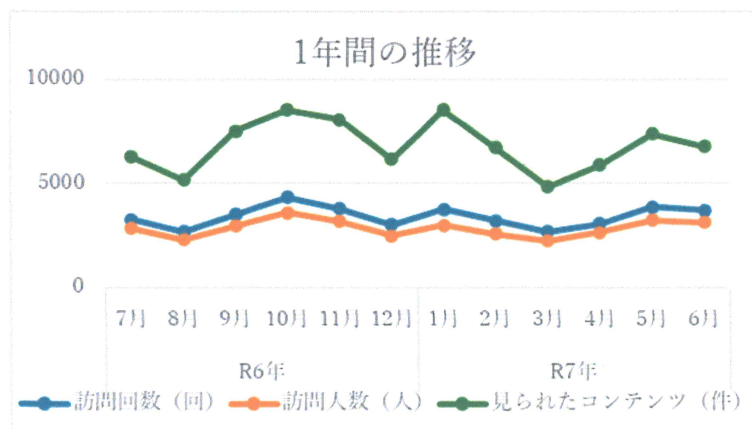
「さーくる」の最近のアクセス状況報告

最近のアクセス状況を下表のとおりご報告します。

	R6 年					
	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
訪問回数 (回)	3266	2693	3497	4337	3773	3004
訪問人数 (人)	2842	2307	2963	3603	3175	2488
見られたコンテンツ (件)	6278	5180	7515	8534	8071	6157
初めて訪問する人の率 (%)	84.6	82.2	81.9	80.7	80.9	79.2

	R7 年					
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
訪問回数 (回)	3745	3198	2671	3069	3856	3697
訪問人数 (人)	2988	2569	2247	2663	3244	3130
見られたコンテンツ (件)	8540	6716	4834	5898	7370	6774
初めて訪問する人の率 (%)	76.6	76.6	79.9	84.4	81.5	81.0

「さーくる」の1年間の推移です



さーくる 障害理解

検索

《相模原やまびこ会作品展開催のご案内》

第17回 相模原市 自閉症児・者作品展

やまびこ会作品展
ホームページ

開催日：2025年9月19日（金）13：00～19：00

20日（土）10：00～19：00

21日（日）10：00～15：00



会場：おださがプラザ ラクアルオダサガ 4階

『ミロより優しく、ゴッホより激しく、ピカソより純真！』

《事務局たより》

《令和7年度夏期受託事業販売協力依頼》

毎年恒例の受託販売にご協力をいただきありがとうございます。今年度も5月7日から麺ごころ（化粧箱入り）、麺ごころ（桐箱入り）島原小町（全粒粉ソーメン）の販売を開始いたしております。

年2回の売り上げの一部を会運営資金にあてておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

何卒、当協議会の主旨、目的を再度、ご理解いただきまして、格段のご協力の程よろしくお願いいたします。

- ① 麺ごころ（FI-40）（化粧箱入りそうめん）・・・・・・・・れんきょう販売価格¥3,200
- ② 麺ごころ（FI-55）（桐箱入りそうめん）・・・・・・・・れんきょう販売価格¥4,200
- ③ 島原小町（ES-33）（全粒粉そうめん化粧箱入り）・・・・・・・・れんきょう販売価格¥3,000

※販売期間：令和7年5月7日～令和7年8月29日

※販売場所：商品お渡し場所 あじさい会館内4階 NPO法人れんきょう事務所

※販売時間：午前10：00～午後4：00（月曜日～金曜日）

※お問合せ：NPO法人れんきょう事務所まで。電話 042-755-5282

《新車紹介セールご協力のお願い》

～（株）クライム社様より新車購入紹介セールのお知らせ～

対象車種：乗用車、ライトバン、RV、トラック

対象メーカー：日産、ホンダ、マツダ、三菱、ダイハツ

新車購入の成約前に必ずNPO法人れんきょう事務所まで連絡をお願いいたします。

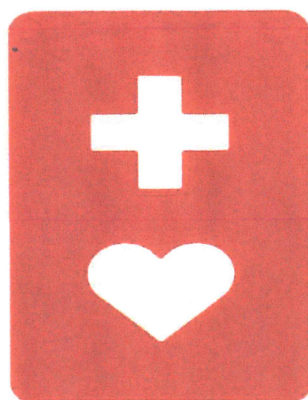
❖ご協力いただいた方には、協力手数料をお支払いいたします。

詳細はNPO法人れんきょう事務所まで（042-755-5282）

知っていますか？『ヘルプマーク』

援助が必要な方のマークです！

あなたの支援が必要です



気づいてください



外見からはわからなくても援助が必要な方がいます。

このマークを見かけたら、電車やバスの車内で席をゆずる、困っているようであれば声をかける等、**思いやりのある行動をお願いします。**